



TITLE:

故 岸本英太郎 教授 略歴

AUTHOR(S):

経済学会

---

CITATION:

経済学会. 故 岸本英太郎 教授 略歴. 経済論叢 1976, 117(5-6): 456-457

ISSUE DATE:

1976-05

URL:

<https://doi.org/10.14989/133645>

RIGHT:

# 經濟論叢

第117卷 第5・6号

哀 辭

故岸本英太郎教授遺影および原稿

社会・技術システム論の発展と

作業組織の再編成……………赤 岡 功 1

合衆国の大規模農場経営の位置と

その階級的性格(1)……………中 野 一 新 20

日本帝国主義下の中国北部占領地域開発の

「統合調整」と北支那開発株式会社……………鈴 木 茂 46

価値と分配について……………岡 本 義 行 72

「不変資本充用上の節約」の位置と構成……………吉 田 文 和 92

ホップズ社会哲学形成史における「歴史」の意味……………田 中 秀 夫 112

記 事

岸本教授逝く

追 憶 談 (渡部 徹・向井喜典・長谷川雅哉)

故岸本英太郎教授略歴・著作目録

昭和51年5・6月

京 都 大 学 經 済 學 會

## 故 岸本英太郎 教授 略歴

- 大正3年(1914) 5月1日 岡山市に生まる
- 昭和6年(1931) 3月 岡山県立第一岡山中学校第4学年終了  
4月 第六高等学校文科乙類入学
- 昭和9年(1934) 3月 同校卒業  
4月 京都帝国大学法学部入学
- 昭和12年(1937) 3月 同学士試験合格  
4月 京都市(～13年3月)
- 昭和14年(1939) 9月 東亜研究所(～17年7月)
- 昭和18年(1943) 3月 河出書房(～19年10月)
- 昭和19年(1944) 11月 日本線材製品統制株式会社(～20年8月)
- 昭和20年(1945) 10月 日本評論社(～22年3月)
- 昭和21年(1946) 12月 専修大学経済学部講師(～22年3月)
- 昭和22年(1947) 3月 教員適格と判定される  
3月 京都帝国大学講師(経済学部)
- 昭和23年(1948) 7月 京都大学助教授(経済学部)
- 昭和26年(1951) 6月 京都大学補導委員(～27年6月)
- 昭和27年(1952) 1月 広島大学政経学部助教授併任(～28年3月)  
4月 岡山大学法文学部助教授併任(～29年3月)  
7月 経済学博士(同志社大学)
- 昭和32年(1957) 7月 京都大学教授(経済学部)
- 昭和32年(1957) 10月 京都大学学生部委員(～33年10月)
- 昭和33年(1958) 4月 学術奨励審議会委員(～35年3月)  
7月 京都大学評議員(～35年7月)
- 昭和34年(1959) 11月 京都大学大学院審議会審議員(～35年7月)
- 昭和37年(1962) 9月 スイス、フランス、ドイツ、イギリス出張(スイス・ルツ  
チェルンにおけるドイツ社会政策学会出席, 10月帰国)
- 昭和38年(1963) 1月 大学設置審議会臨時委員(～40年1月)
- 昭和39年(1964) 6月 学術奨励審議会専門委員(～41年6月)  
7月 京都大学評議員(～40年1月)  
7月 京都大学大学院審議会審議員(～40年1月)

昭和40年(1965)	1月	京都大学経済学部長(～41年1月)
	1月	京都大学経済研究所協議員(～41年1月)
	7月	大学設置審議会専門委員(～41年3月)
昭和41年(1966)	3月	イギリス連合王国へ出張(41年12月帰国)
昭和42年(1967)	3月	学術奨励審議会専門委員(～42年5月)
昭和43年(1968)	2月	学術審議会専門委員(～45年2月)
昭和51年(1976)	3月11日	絶対性不整脈のため逝去
		正四位, 勲二等に叙せられ瑞宝章を授けらる
	4月2日	従三位に叙せられる